

決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(塩野鉄之助君)

ご異議なしと認めます。

よって議案第二号は

原案どおり可決されました。

~~~~~

○議長(塩野鉄之助君)

日程第五議案第三号昭和四十九年度福生市一般

会計補正予算(第四号)を議題といたします。

朗読を省略し、本案について提案理由の説明を求めます。

(企画財政課長上野重勝君登壇)

○企画財政課長(上野重勝君)

ご指名をいただきましたので議案第三号昭

和四十九年度福生市一般会計補正予算(第四号)につきまして提案理由並びにその内容についてご説明を申し上げます。

本予算は一般会計補正予算の第四号でございますが、第一号と並びまして経常費その他全項目について補正がなされております。その総額は六億七千八百六十五万七千円であり大幅なものでございますが、先ほどのお話にもありましたように、武蔵野幹線排水路の国庫負担金四億

福生市議会



七千五百六十五万一千円がおもなものでございますので、その他の補正分といましては二億三百万六千円ということでございます。なお歳入におき

ましてこの骨子となっております武蔵野幹線排水路の関係を除きます

と、税収におきまして四千五百万円、それから基地交付金の増額分二千六百

二十六万七千円、さらに起債の六千二百十万円というようなものがおもな財源

でございます。これに対する歳出といたしましては、先ほどの武蔵野幹線

排水路を除きますと、去る十二月の議会において特別職の報酬の条例改正か

ございまして、これらの関係の件費として一千三百四十四万七千円、それから

福祉関係の予算が大幅に計上されております、五千四百八十二万七千円、

その他特異なものとしたしましては、衛生費の中で福生病院の準看護学

院の除湿工事の工事費七百三十九万一千円等が計上されております。

次にその内容について歳入からご説明申し上げます。

市税におきましては今回四千五百六十二万二千円の追加計上でございますが、これは市民税におきまして個人分が五百八十八万八千円、法人分が二千七百二十三万七千円、それぞれ現年度分が増加となりましたのであわせまして市民税三千三百四万五千円の追加補正でございます。また固定資産税におきまし

ては一千四百六十六千円の追加補正でございますが、これも現年度の調定増の分でございます。なお同様に都市計画税におきましても百五十五万一千円が計上されておる次第でございます。

次に国有提供施設等所在市町村助成交付金等でございますが、これは当初予算二億六百四十五万四千円に對しまして、今回二千六百二十六万七千円とかなり大幅な増額でございます。これには助成交付金いわゆる固定資産税相当分と調整交付金の二つがございしますが、助成交付金分につきましては二千百十五万円の増額でございます。また調整交付金につきましては五百十一万七千円の増額でございます。あわせますと二千六百二十六万七千円でございまして、前年度と比較をいたしますと、金額におきまして六千二百六十八万七千円、率にいたしますと三六・九％とかなり大幅な増加になっておる次第でございます。

交通安全対策特別交付金でございますが、これは当初予算と比較をいたしまして六十九万九千円の減額でございますが、これは国からの交付決定額が減額となっておりますので減額計上をした次第でございます。次に分担金及び負担金は総額で一千五千五万一千円の計上でございます。

す。そのうちの分担金におきまして六百八十七万一千円でございますが、

これは少しややこしくなっておりますが、西多摩衛生組合の地方交付税配分額が西多摩衛生組合には直接配分にはならず、構成しております四市町のうちのどこかの市町にその分が配分されまして、それを西多摩衛生組合に交付をし、さらにまた西多摩衛生組合から関係四市町に配分をするというふうなことになっております。今年度は福生市が担当いたしております。

ので、交付税の配分金が総額で二千七百八十九万八千円、福生市の分としてよけいにきております。したがってこれは歳出のほうの衛生費で二千七百

八十九万八千円を計上いたしまして、これを西多摩衛生組合のほうに交付をいたしまして、さらに今度それが福生のほうに配分されてくる額が六百八十七万一千円ということでございます。なお青梅市分が一千三百三十六万七千円、

羽村の分が三百九十一万五千円、瑞穂分が三百七十四万五千円というふうなことに相なっております。以上が分担金でございます。次に負担金の三百

六十八万円でございますが、これは保育園の児童措置費の保護者負担分の負担増でございます。

次に使用料及び手数料ですが、これは手数料の四万円の増額で、こ

の内訳は、屋外広告物手数料として一万円、優良宅地の審査取扱手数料として三万円、あわせて四万円の収入でございます。

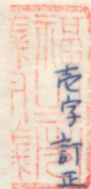
次に国庫支出金におきましては五億一千二百三十四千円というような高額の増額でございます。これは国庫負担金において四億九千五百二十六万四千円、国庫補助金におきまして一千六百八十七万円の増額でございます。

この結果国庫支出金の予算に占める割合は四六・六％というたいへん大幅な額でございます。その総額も三十億四千八百七十六千円というような金額に相なります。

国庫負担金の内容についてご説明申し上げますが、これは民生費関係の児童措置費、老人保護措置費、生活保護措置費、老人医療費負担金等、福祉関係の国庫負担金が一十九百六十一万三千円に相なります。

それに武蔵野幹線排水路の負担金四億七千五百六十五万一千円とあわせて、国庫負担金が四億九千五百二十六万四千円というような金額に相なるわけでございます。また国庫

補助金におきましては総額で一千六百八十七万円の計上でございますが、これは無線放送の施設として二十九万八千円、その他其中の増築分として八百七十七万五千円、七小の新築分として百五十六万六千円、それからさらに



先ほどご説明申し上げました福生病院の準看護学院の除湿工事の補助金として七百三十七万八千円等が交付されております。あわせて一千六百八十七万円というような金額に相なるわけでございます。

次に都支出金についてご説明申し上げます。

都の支出金の総額は八百七

十四万三千円、当初の額とあわせると三億八千三十二万七千円と相なるわけでございますが、その内容は都負担金におきまして二百二十三万三千円、都補助

金におきまして百五十五万九千円、都委託金におきまして五百十六万一千円でございまして、この内訳は都負担金では老人保護あるいはまた老人医

療とこれらの収入が三十五万二千円、児童措置費の負担金が二十三万五千円、それから生活保護費負担金百四十三万六千円等でございます。都補

助金といたしましては福祉活動専門員設置の補助金五万五千円、児童福祉費補助金として七百六十四万六千円、その他学校関係の補助金等がござ

います。合計いたしまして百五十五万九千円ということでございます。

なおこれは三中の屋内運動場新築事業補助金の三百九十九万一千円の減額、七小の新築分として一千七十六万四千円の減額等がございます。また都委

託金といたしましては五百十六万一千円でございますが、これは選挙関係の

委託金、あるいはまた公害関係の事務費の委託金等でございます。

次は財産収入で総額百七十八万四千円でございますが、これは庁舎増築基金として積み立てております基金の利子として百七十六万九千円、そのほかに一万五千円でございます。

次に諸収入といたしましては総額一千二百六十七万五千円の追加計上でございますが、この内訳は市の預金利子といたしまして四百五十万円、雑入といたしまして八百七十五万五千円でございますが、この雑入は国民年金印紙代が七百万円、雑入その他が百七十五万五千円ということでございます。

市債におきましては六千二百十万円の追加計上でございますが、これは防衛施設周辺道路整備費の起債として三千二百六十万円、南公園の工事費の起債として一千百三十万円、学校関係で一千八百二十万円、あわせまして六千二百十万円の追加計上でございます。この内容につきましては起債のほうで説明申し上げます。

歳入については補正前の額五十八億六千七百五十二万二千円に對しまして、今回の追加補正額が六億七千八百六十五万七千円で、合計いたしますと歳入の総額は六十五億四千六百十六万九千円という大幅な額でございます。

次に歳出についてご説明申し上げます。

議会費におきましては二百八十五万六千円の追加計上でございますが、これは主として報酬改正等に伴う人件費でございます。

次に総務費についてご説明申し上げます。

総額一千九百八十七万円

の追加補正でございますが、その内訳は総務管理費において一千二百二十万七千円で、これは委員報酬の三十六万円、市長等の給与百六十八万七千円、その他経常的なもの七十四万円、さらに歳入にございました庁舎増築基金の利子を積み立てまして、これが百七十六万九千円、その他でございます。徴税費におきましては四百二十三万九千円の計上でございますが、これは需用費関係において百七十万円、電算委託料において百三十二万円、その他百二十一万九千円等と相なっております。テリ籍住民基本台帳費におきましては二百六十七万一千円の追加でございますが、これは退職手当組合特別負担金として二百五十五万一千円、その他手当百十二万円等でございます。

選挙費におきましては百四十二万七千円の追加でございますが、これは本年四月に施行される予定になっております都知事選挙費として百九十万六千円、市議会議員選挙の準備費として三十二万九千円等

が計上されてございます。次に統計調査費におきましては二十八万五千円の計上ですが、これは各種統計調査費の報償等でございます。

また監査委員費におきましては四万一千円の追加ですが、これは委員報酬の改定増分等でございます。

次に民生費でございますが、これは総額五千四百八十二万七千円の追加計上でございまして、その内容は社会福祉費におきまして一千四百一十二万八千円、児童福祉費におきまして二千六百六十三万一千円、生活保護費におきまして九百七十八千円の追加でございます。社会福祉費におきましては年金の印紙代七百万円、福祉関係活動費として六百五十一千円、福祉社会館の管理費百三十一千円等でございます。児童福祉費におきましては若葉保育園の補助金三百四十万円をはじめといたしまして、保育委託料の一千五百六十四万四千円、その他でございます。生活保護費におきましては医療扶助費一千四百万円、生活扶助費三百四十万円、住宅扶助費六十万円等に相なっております。

次が衛生費でございますが、今回の補正額は四千二百二十六万六千円でございます。その内訳は保健衛生費におきまして八百十五万一千円、清掃

費におきまして三千三百一十一万五千円の追加補正でございます。保健衛生

費におきましては歳入においてご説明申し上げました福生病院の準看護学院の除湿等に七百三十九万一千円、それからさらに公害対策費として五十二万円が計上されてございます。清掃費におきましてはこれも歳入でご説明申し上げましたように地方交付税の配分金として西多摩衛生組合に渡します分が二千七百八十九万八千円と、それから西多摩衛生組合の負担金として五百万円が追加されておりますので、これらをあわせまして三千三百一十一万五千円ということでございます。

労働費におきましての六千円は期末手当の増加分でございます。

次に農林水産業費の農業費におきましては四十八万九千円でございますが、これは報酬において二十三万五千円、緑化推進事業費として二十万一千円等でございます。

次に商工費の三百七十二万八千円の追加でございますが、これは商工会に対する補助金三百二十一万六千円、家庭菜園の関係で四十四万六千円、その他となっております。

土木費におきましては総額四億九千七百七十三万二千円でございますが、

この内訳は道路河川橋りょう費におきまして三十八万九千円、都市計画費におきましては四億九千八十四万一千円、住宅費において五十万二千円でございます。

道路河川橋りょう費におきましては緊急道路整備費として三十八万九千円等がございますが、なおこれは起債が許可になる見通しでございますので、これらの財源振り分け等の説明が加えられております。また

都市計画費におきまして四億九千八十四万一千円というような大幅なものでございますが、これは歳入でもご説明申し上げましたように武蔵野幹線排

水路の事業費四億七千五百六十五万一千円が計上されております。そのほかに南公園の整備費として一千五百万円を計上いたしております。住宅

費におきましては五十万二千円の計上ですが、これはあき屋となりました市営住宅の解体費でございます。

次に消防費でございますが、総額百十八万九千円の増額でございますが、これは報酬におきまして四十五万四千円、それから消防施設におきまして五十万一千円、災害対策費として消火器購入代十五万円等と相なっております。

次に教育費におきまして三千六百四十六万一千円の追加補正でございます

福生市議会

が、これは教育総務費において百二十六万二千円、小学校費において一千七

百七十一万三千円、中学校費において一千百九十三万一千円、学校給食費に

おきまして三百十二万三千円、社会教育費におきまして百七十四万円、保健

体育費におきまして六十九万二千円等となっておりますが、教育総務費に

おきましては報酬、給料等九十三万二千円、その他経常的な経費三十三万円

等と相なっております。それから小学校費一千七百七十一万三千円の増加につ

きましては学校管理費におきまして一千七十二万四千円、教育振興費におい

て百八十万円、学校整備費におきまして五百十八万九千円等となっております。

また中学校費におきましては学校管理費で三百八十五万八千円、教

育振興費で百六十万円、学校整備費で六百四十七万三千円等になってお

ります。また学校給食費におきましては三百十二万三千円の計上でございます

が、この中には今回特に牛乳の値上がり分に伴います牛乳代の補助金

として百九万二千円が特異なものとして計上されてございます。その他社

会教育費におきましては百七十四万円の追加でございますが、これは図書代

百万円、市民会館建設費二十二万四千円等でございます。保健体育費の

六十九万二千円は経常的な経費でございます。

公債費におきましては二百六十九万九千円の減額でございますが、これは起債の利子等が加入の時期のおくれに伴いまして、利子の減少あるいはまた公債費の許可額の減少等に伴いまして公債費が減少となった次第でございます。

諸支出金におきましては百三十七万四千円の追加でございますが、これはと畜場跡地の境界の明確でなかった分につきまして境界査定をいたしまして、その結果市有<sup>地</sup>地分として買収するもの八十・八二平方メートルに對します買収費百三十七万四千円でございます。

なお予備費におきまして二千七百五十六万八千円を計上いたしまして、予備費の合計は四千九百三十九万八千円と相なりまして、財政的に若干の余裕を持たせた次第でございます。

以上歳出は補正前の額五十八億六千七百五十二万二千円に對しまして、今回の補正額六億七千八百六十五万七千円を足しまして、歳出合計六十五億四千六百十六万九千円と相なるわけでございます。

次に地方債の補正について説明申し上げます。

まず新しく起債の許可になる予定のものが防衛施設周辺道路整

備事業費、いわゆる防衛関係の補助事業の道路分として三千二百六十万円が許可になる見込みでございます。起債の方法といたしましては普

通貸借または証券発行、利率は金融情勢等によりまして九・七％以内ということにいたしております。償還の方法といたしましては借入れのときよ

り据置を含みまして三十年以内に償還する。ただし財政その他の都合により償還年限を短縮もしくは低利債に借換することができるというところでございます。なおそのほかに福生緑地、いわゆる南公園の整備

事業として一千百三十万円の起債が新たに許可になる見通してございます。また起債の変更といたしましてはそこに掲げてありますように、ほとんど全部の内容にわたって変更がございしますが、このおまな変更と申しますのは利息が九・七％以内というふうにかつたということでございます。従

来が九％以内ということでございますので、〇・七％利率が上がったという改定がおまなものでございます。また一部額の改定がございしますが、額

の改定分につきましては市立福生第七小学校新築事業分として二千三百七十万円が二千九百六十万円に増額されており、五百九十万円の増額でございます。また市立福生第七小学校の屋内運動場新築工事分として一千



百二十万円加一千三百二十万に増額されております。それから市立福生第二中学校増築事業分として一千二百四十万円加一千四百十万円に増額されております。また市立福生第三中学校屋内運動場新築事業分として一千二百万円加二千六十万に増額されております。以上増額分の合計は一千八百二十万円ということに相なります。

以上たいへんざっぱくでございましたが、議案第三号につきまして提案理由並びにその内容についてご説明申し上げました。

よろしくご審議の上、原案どおりご決定くださいますようお願いいたします。

○議長（塩野鉄之助君）

これより十一時まで休憩いたします。

午前十時四十八分

休憩

午前十一時

開議

○議長（塩野鉄之助君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

以上で提案理由の説明は終わりました。

これより本案に対する質疑を行ないます。

福 生 市 議 会

○十番（松山 清君）

衛生費の予防衛生センター管理費において衛生センタ

ー改良工事が行なわれるわけですけれども、この程度の金額でどのくらいま

でできるのか。多少不十分のような感じがするかどうか。

土木費の南公園整備工事についてはいろいろ経過があるわけですから、

ども、最終的にこの額でもう完ぺきなかどうか。

教育費の学校給食費において、牛乳代価格改定に伴う補助金として百九万二千円が計上されたわけで、これは値上げに伴うものの補助金ということでも私も歓迎するものですけれども、聞くところによると二分の一ということですが、ぜひとも今後こういうものについては全額みるような方向で努力していただきたいと思うわけです。今後の考え方について伺いたい。それから社会教育費の図書購入代百万円が計上されたのですが、私の記憶では前年度と同じ額になったのではないかと思うのです。そうしますと購入に際し図書の単価も上がっていると思うので、その点若干前年度の実績を下回るような感じも受けます。今回百万円追加補正してどの程度

前年度に追いつけるのかその辺についてお聞きたい。

○環境保全課長（八木房雄君）

自席からご答弁させていただきます。

予防衛生センターの工事費の二十二万円でございますが、これは予防衛生センターの東側並びに南側に小屋根を出しまして、予防接種に来られるお子さんたちの日よけや雨天の場合の雨よけをいたしたいと考えて補正をお願いしたわけでございますが、大体坪数で申し上げますと十五・七五坪でございます。これだけあれば何とか現在の敷地一ぱいでございしますので、何とかしのげるのではないかと考えております。

○助役（篠崎俊夫君） 土木費の都市計画費中南公園のことについてお答え申し上げます。

この千五百万円は懸案でございました車道の舗装とニカ所の駐車場の舗装のための経費で、百台くらい駐車できるようになり、舗装の面積は六千三百五十二平方メートルであります。それから常に指摘を受けております植木を植えることとでございますが、ご承知のように一メートル以下の下木でなければいけないので、高い木を植えることは残念ながらできないわけです。植栽の面積は八百十二平方メートルで、この費用も含まれております。それから芝生五千百平方メートルの植栽工事も含まれております。南公園につきましてはこの予算をご議決いただきますと、こ

れで全部完成ということに相なります。

○教育委員会庶務課長兼社会教育課長（内田和雄君） まず給食費で

ございますが、牛乳代改定に伴う補助金百九万二千円は、値上げ分四円五十三銭に対します。百十一回の額の二分の一でございます。これは四十九年度の給食関係の予算から割り出し、現在までの値上り分等を勘案してこれだけの額で四十九年度の給食費につきましてはまかなえるであろうということとで計上したものでございます。今後の問題ですが、再三給食費についていろいろ見解が出ているわけですが、今年度においてはこの分を父兄負担ということとでなしに市負担をお願いして計上していただいたわけですが、今後来年度の給食費につきましては三月になりませんと再計算が出まされるので、その上で現在の給食費は多少の値上りはやむを得ないのではないかと気がしておりますが、これは三月になって再計算をいたしまして検討していきたいと思っております。

図書の関係ですが、ここで百万円を図書代といたしまして計上したわけですが、これは大体現在児童図書の利用度が非常に高いということ、また熊川団地の電車図書等の関係がございまして、それらを勘案いたし

まして図書館の司書のほうからこの要望が出たわけです。十一月現在では二万六千四百九十七冊の本が整っているわけでございます。今度の場合も大体一千冊くらいは購入でき、児童図書のみであったならば一千三、四百冊は購入できるのではないかという見通しでございます。そういうふうなことでこれは一応司書のほうから本年度の必要数が出まして計上したわけでございます。昨年度の購入した冊数の資料がいまここにございませんが、現在までの数は先ほど申し上げました二万六千四百九十七冊ということでございます。

○十番（松山 清君） 一番目、二番目についてはよくわかりましたか、今後給食の問題では牛乳代だけではなく他の物価の値上がり等もあるわけで、五十年度的にせび値上げをしないで済むように関係者の皆さんにご努力をお願いしたいと思います。それから図書の購入代の補正についても、相当利用者も多いという中で、できるだけ前年度を下回らないように今後ともご努力をお願いしたいと思います。

○議長（塩野鉄之助君） 以上で質疑を終わります。本案に対し討論の通告がありますので、これより討論を行ないま

福生市議会

す。討論については会議規則第五十一条の規定により最初に反対者から発言を願います。反対者十番松山 清君。

（十番松山 清君登壇）

○十番（松山 清君） 議案第三号昭和四十九年度福生市一般会計補正予算（第四号）について反対討論をいたします。

当補正予算は六億七千八百六十五万七千円を追加するものですが、しかし内容においてはこのインフレ高物価の中で市民各階層の生活が非常にたいへんになっている中で、行政として市民生活を守っていく方向にあまりなっていないと私は考えます。先の十二月定例議会において条例改正を可決した議員、市長等の給料の値上げの予算が六百余万円など、いまの市民生活の実態をやはり十分考えないものであり、市民生活を守るための施策としての予算化は民生費等において幾らか取り入れられているだけであり、このような補正予算ではいまの市民の願いにこたえるためには十分ではなく、私としては前条例改正等の関連としても反対をいたすものであります。

○議長（塩野鉄之助君） 次に賛成者一番貫井喜代次君。

